

# 新たな小学校再編案とは

**答** 案として、筑後中校区の6校を1校に統合する



中富 正徳 議員

**問** 過去の再編案ではなく、なぜ、6校を統合し1校に再編するのか。

**市長** 思い切った案だが、将来的にも正解ではないかと思う。2段階論、まずは2校・3校を1校に統合ということもあるが、責任者としてそこまでの体力はないと判断した。

**教育長** 統合案を複数検討。小中一貫教育や9年制の義務教育学校制度の研究、校舎の老朽化の現状把握、公共施設等総合



大規模小学校(北九州市立ひびきの小学校・1100人規模)

管理計画の目標値との関連等を協議するなど複合的考えの中での提案である。再編委員会の委員長として、私がリーダーシップをとって意見をまとめた。また、財政負担の観点から、新校舎建設場所確保として、市有地である水田小学校および水

田コミセン敷地に学校を建設する案が優位であると判断した。

**JRダイヤ改正後の利便性は**

**問** 市民の利用者から、ダイヤ改正後、不便になったと聞か。

**市長** ダイヤ改正についていろいろと要望活動をしてきた。JR九州の一方的なやり方では市民の理解が得られない。1本でも改善できるように先頭に立って働きかける。

## 通学路危険箇所の把握、対策は

**答** 組織的に継続して安全対策を実施

**問** 通学路の安全対策について、市の考え方は。

**市長** 筑後市通学路安全推進会議を設置し、基本方針となる通学路交通安全プログラムを策定。組織的に安全確保対策を継続して実施している。

**問** 危険と判断された箇所の改善状況と今後の対策は。

**学校教育課長** 平成27年度から3年間で報告された91カ所の危険箇所のうち、53カ所、58・2%が対策済みである。未対策箇所には、県道や国道もあり、道路の拡幅が必要



通学路の安全対策は不可欠



石橋 章 議員

### 国道209号の歩道整備は

**問** 国道209号の歩道は、狭い所で70cmで、以前から危険な状況にある。今後の整備計画は。

**道路課長** 安全確保のために歩道整備は不可欠との地元の声もあり、国交省に対し危険箇所の歩道整備の要望を出した。その結果、一部は本年度で

### 見守りボランティアの

### 事故補償は

**問** 見守り隊の人が事故にあつた場合の対応は。

**防災安全課長** 事故等にあつた場合は、通院入院等の事例に応じて市民総合災害補償保険金を支払う事になっている。